

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公表番号】特表2013-523519(P2013-523519A)

【公表日】平成25年6月17日(2013.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-031

【出願番号】特願2013-501940(P2013-501940)

【国際特許分類】

B 6 0 B 7/06 (2006.01)

【F I】

B 6 0 B 7/06 T

B 6 0 B 7/06 V

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月19日(2014.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

車両が動作している間における、この車両からのホイールロスを検知するための検知装置であって、

前記検知装置は、ホイールが取り付けられたアクスルのホイールハブに間接的に隣接し、前記ホイールが該検知装置と前記ホイールハブとの間に配置されるものであり、使用時に前記ホイールに該検知装置を取り付けるために形成されたハウジングと、

前記検知装置の前記ホイールハブへの近接性を検知するための検知器と、

前記検知器が、前記検知装置が前記ホイールハブに近接していないことを検知した場合にアラーム信号を送るための送信器と、を備えている検知装置。

【請求項2】

前記検知器は、機械的スイッチ、磁気スイッチ、容量スイッチ、感圧スイッチ、抵抗スイッチ、および、電気回路を構成する機械的作動装置のいずれか一つから選択され、

前記作動装置は、前記ホイールハブに向けてバイアス手段によってバイアスをかけるものであり、前記検知装置が前記ホイールハブに近接していない場合に、前記作動装置における前記バイアス手段の動作が、前記電気回路を遮断し、前記アラーム信号を誘発するものである請求項1記載の検知装置。

【請求項3】

処理装置と記憶装置とを備えてなり、前記記憶装置は、前記検知装置のための識別子を記憶するよう構成され、前記アラーム信号は、該識別子を含むものである請求項1または請求項2記載の検知装置。

【請求項4】

前記検知装置を受信ユニットに結合するための結合ポートを備えてなり、前記結合ポートは、前記記憶装置内に前記識別子を記憶する前に前記受信ユニットから前記識別子を受信するように構成されている請求項3記載の検知装置。

【請求項5】

前記ハウジング内に配置され、該ハウジングに対して動作可能な内容器を備えてなり、該内容器は、前記ハウジングから離れる方向にバイアスをかけられ、かつ、前記ハウジングに対する該内容器の動きを検知するように構成されている請求項1から請求項4のいず

れか 1 項記載の検知装置。

【請求項 6】

車両が動作している間におけるホイールロスを検知するためのホイールロス検知システムであって、

前記システムは、ホイールが取り付けられたホイールハブに隣接したホイール枠に取り付けられた検知装置であり、前記ホイールが該検知装置と前記ホイールハブとの間に配置され、該検知装置の前記ホイールハブへの近接性を検知するための検知器と、該検知器が、該検知装置が前記ホイールハブに近接していないことを検知した場合にアラーム信号を送るための送信器とを有する検知装置と、

前記検知装置からアラーム信号を受信するための受信器、および該アラーム信号を受信した場合に車両の運転手に警告するための手段を有する受信ユニットと、を備えているホイールロス検知システム。

【請求項 7】

前記アラーム信号は、車両のホイールと関連した装置識別子を備え、前記受信ユニットは、関連付けされたホイールの識別を運転手に警告する手段を備えている請求項 6 記載のホイールロス検知システム。

【請求項 8】

前記検知器は、機械的スイッチ、磁気スイッチ、容量スイッチ、感圧スイッチ、および、抵抗スイッチのいずれか一つから選択されるものである請求項 6 または請求項 7 記載のホイールロス検知システム。

【請求項 9】

ホイールロス検知装置の取り付け方法であって、

前記ホイールロス検知装置は、前記検知装置のホイールハブへの近接性を検知するための検知器と、該検知器が、該検知装置が前記ホイールハブに近接していないことを検知した場合にアラーム信号を送るための送信器とを有し、

前記方法は、ホイールに、前記ホイールロス検知装置を取り付ける工程と、

前記ホイールが、前記ホイールハブと前記検知装置との間に配置されるように前記ホイールを前記ホイールハブに取り付ける工程と、を備えているホイールロス検知装置の取り付け方法。